

プログラム

大会長講演

8月20日(金) 9:10～9:50

座長：：柳田 信也 (東京理科大学)

演題：「脳を守る／脳機能を高める至適運動条件の探索」

講師：北 一郎 (東京都立大学)

教育講演 1

8月20日(金) 13:00～13:50

座長：八田 秀雄 (東京大学)

演題：「マイオカイン研究の歴史と現状」

講師：藤井 宣晴 (東京都立大学)

教育講演 2

8月21日(土) 9:30～10:20

座長：北 一郎 (東京都立大学)

演題：「パラアスリートにみる脳の再編」

演者：中澤 公孝 (東京大学)

ワークショップ

8月21日(土) 10:30～11:50

座長：古市 泰郎 (東京都立大学)

演題：「運動生理学者へのキャリアパス
—先輩、私の背中を押してください—」

1 演者： 岩本 えりか (札幌医科大学)

1 テーマ：ゆりかごを動かす手は世界を動かす：

The hand that rocks the cradle rules the world

2 演者： 青木 祥 (ソーク研究所)

2 テーマ：Science is just a byproduct of your life

「運動と脳が織りなす機能連関と身体性」

- S1-1** 運動による代謝変動と脳機能連関
志内 哲也 (徳島大学)
- S1-2** 運動による海馬神経新生と記憶能連関
岡本 正洋 (筑波大学)
- S1-3** 手指と脳：体性感覚情報と運動の統合過程
和坂 俊昭 (名古屋工業大学)
- S1-4** 感覚運動統合と脳内ネットワーク
吉村 奈津江 (東京工業大学)

「e スポーツ生理学研究の創生：現状と課題を知り、未来を切り拓く」

- S2-1** プロ e スポーツプレイヤーのトレーニング・コンディショニング
あぐのむ (横浜F・マリノス)
- S2-2** e-sports パフォーマンス向上とニーズの達成を目的とした
トレーニングサポート報告
牧野 講平、吉高 藍 (森永製菓トレーニングラボ)
- S2-3** スポーツ科学で引き出す e スポーツの力：ハイパフォーマンスと教育効果
松井 崇 (筑波大学)
- S2-4** e スポーツの研究と倫理：倫理学からみた e スポーツと科学・生理学の課題・未来
岡本 慎平 (広島大学)

座長：安藤 創一（電気通信大学）

樽味 孝（産業技術総合研究所）

「運動がもたらす認知機能の変化：最新の知見と展望」

S3-1 運動と認知機能を支える基盤
安藤 創一（電気通信大学）

S3-2 運動・体力と脳内ネットワーク
石原 暢（神戸大学）

S3-3 運動とうつ病における認知障害
陳 冲（山口大学）

S3-4 高齢者の脳と運動：認知症予防のための生理学研究
樽味 孝（産業技術総合研究所）

座長：増田 和実（金沢大学）

「身体機能の最適化・最大化を目指した
若手研究者による最新の基礎運動生理学」

S4-1 トレーナビリティの性差を左右する骨格筋の制御機構に関する基礎研究
吉原 利典、土橋 祥平、寶川 美月（順天堂大学）、棗 寿喜（東海大学）

S4-2 温熱刺激による骨格筋ミトコンドリアの適応と老齢による適応性の負の修飾
田村 優樹（日本体育大学）

S4-3 時間運動学を基盤とした持続的運動トレーニングの最適な実施タイミング
加藤 久詞、井澤 鉄也（同志社大学）

「運動の『文脈』を考慮した運動制御・学習研究の新展開」

S5-1 脳と筋の相互コミュニケーションを変調させる『文脈』

牛山 潤一 (慶應義塾大学)

S5-2 冗長自由度を有する身体運動の学習を拘束する『文脈』

萩生 翔大 (京都大学)

S5-3 ヒトの歩行・走行を構成する『文脈』

小川 哲也 (日本女子大学)

「民間企業が注目する運動生理学研究
—高まる健康の需要に応えるために—」**S6-1** 植物由来成分 (ポリフェノール) と運動

塚本(銭) 咲翔・内田(丸木) 裕子 (森永製菓株式会社)

S6-2 独自の in vitro 運動モデルの構築及び β -ヒドロキシ- β -メチル酪酸 (HMB) の作用メカニズム解析への応用

佐藤 聡子・青野 恵・野村 充 (ライオン株式会社)

S6-3 神経筋機能に着眼した運動機能改善技術の開発

田村 晃太郎、杉田 聡、峯岸 慶彦、太田 宣康 (花王株式会社)